

## 令和3年度 難病指定医・協力難病指定医研修会を兼ねた

難病診療に携わる医療従事者に対する研修会 を web 配信します。

難病の代表的な疾病の診断と治療「血液系難病」(New)を追加しました。

筑波大学附属病院 難病医療センターでは、難病診療に携わる人材を育成する目的で、「難病の病態や治療、疾患の特性の理解、療養支援等に関する専門的な知識・技術を習得できる」ための医療従事者向け研修会を開催しております。

この研修会は、茨城県から委託を受けた「令和3年度難病診療連携拠点病院事業」実施要項の第4の7に基づき、(協力)難病指定医として必要な研修も兼ねております。

**講座名** 令和3年度 難病指定医・協力難病指定医研修会を兼ねた難病診療に携わる医療従事者に対する研修会

**内容** 研修は2部構成になっております。

第1部は「難病医療制度の概要」となっており、(1)(2)は指定医申請に必修となります。  
協力難病指定医の申請に必要なのは、第1部だけでアンケート記入を確認の上、受講証を交付いたします。

第2部は「難病の代表的な疾病の診断と治療について」の講話になっております。  
難病指定医の申請に必要なのは、第1部(1.5時間)と第2部の3つの講座(1.5時間×3)を受講・アンケート記入が必要になります。第2部の講座は、順次追加する予定です。

第1部 難病医療制度の概要 (既に行った研修会や会議の録画したものを配信いたします。)

(1)難病の医療費助成制度の概要及び各種手続き

(令和2年12月22日開催した令和2年度医療従事者向け難病研修会から)

(2)難病制度の見直しについて

(令和3年9月2日開催した令和3年度難病診療体制会議から)

講師 茨城県保健福祉部健康・地域ケア推進課 係長 横山 健

<(1)(2)で協力難病指定医申請に必要な単位(1.5時間)を取得可>

<(1)(2)で難病指定医申請に必要な単位 1.5時間(6時間の取得が必要)が取得できます>

第2部 難病の代表的な疾病の診断と治療について

(1)消化器疾患難病「炎症性腸疾患の診断と治療」について

講師 筑波大学 医学医療系 消化器内科 教授 土屋 輝一郎

<難病指定医申請に必要な単位(1.5時間/6時間)>

(2)「免疫系難病」-膠原病の診断と治療について

講師 筑波大学 医学医療系 膠原病リウマチアレルギー内科 教授 松本 功

<難病指定医申請に必要な単位(1.5時間/6時間)>

(3)「血液疾患領域」-難病の診断・治療・申請 (New)

講師 茨城県立中央病院 病院参事 血液診療・輸血部統括局長

筑波大学地域臨床教育センター 教授 長谷川 雄一

<難病指定医申請に必要な単位(1.5時間/6時間)>

※(協力)難病指定医申請に必要な方は、必ず事後確認(アンケート)の提出をお願いいたします。

(協力)難病指定医の認定に必要な履修内容を確認した後に、修了書を交付します。

その修了書をもって(協力)難病指定医の申請を行ってください。

## 対象

難病患者の支援に携わる医療従事者

医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、訪問看護ステーション職員、医師事務作業補助者、居宅介護支援事業所介護支援専門員、障害福祉相談支援事業所職員、保健所職員 等

## Web 配信を視聴する方

- ①次の[申込書](#)または難病医療センターホームページの同様式で申し込む。  
[申込書\(web 配信申込書フォーム\)](#)  
\*既に受講者登録(アカウント作成済み)されている方は申しなくても視聴できます。
- ②申し込みされた方へ、ユーザ登録用の URL を送付いたしますので、URL より  
お進みいただき、新しいアカウント(受講者の登録)を作成してください。  
\*ユーザ名は受講者のメールアドレス(@前まで)で登録することを勧めます。  
2 回目以降の視聴にもユーザ名とパスワード入力が必要になりますので、忘れないようにしてください。  
\*動画視聴に関しては、有効期間内であれば何回でも視聴することができます。
- ③動画視聴後は確認事項(アンケート)の記入をお願いいたします。  
\*単位取得する方は、確認事項(アンケート)を記入しないと単位認定できません。  
確認事項(アンケート)記入については、視聴完了マークが出ないと記入できません。
- ④この研修会に関する資料は用意しておりませんので、ご了承ください。

[\\*動画視聴に関する通信費は参加者個人負担となります。](#)

### 【web 配信にあたってのお願い】

- ◎web 配信内容の録音録画は禁止です。
- ◎web 配信の資料についての複写・転写は禁止です。
- ◎質問のある方は事後確認(アンケート)に記載ください。

問合せ先 筑波大学附属病院難病医療センター 下条陽子

TEL:029-853-7580 FAX:029-853-7581

E-mail : [nanbyou-c@un.tsukuba.ac.jp](mailto:nanbyou-c@un.tsukuba.ac.jp)

申込方法 「申込書」(web 配信申込書フォーム)にてお申し込みください。

または、筑波大学附属病院のホームページをご覧ください。

<http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/outpatient/facility/nanbyou/>

QR コード→



問い合わせ先 筑波大学附属病院 病院総務部医療支援課 難病医療センター  
〒305-8576 茨城県つくば市天久保2-1-1 TEL:029-853-7580  
E-メール : [nanbyou-c@un.tsukuba.ac.jp](mailto:nanbyou-c@un.tsukuba.ac.jp)

## 参考

### 難病指定等研修におけるカリキュラム及び時間

※難病指定医の研修は、全ての項目を含むように研修を行うものとする。

協力難病指定医の研修は、3を除く項目を全て含むように研修を行うものとする。

#### 1 難病の医療費助成制度について(1時間)

- ・難病の医療費助成制度、難病患者のデータ登録についての理解を深める内容とする。
- ・難病指定医等の職務を理解する内容とする。
- ・医療費助成制度における診断基準、重症度分類、臨床調査個人票等について理解する内容とする。
- ・指定医療機関療養担当規定の遵守等、指定医療機関が行うことについて理解する内容とする。
- ・医療費助成制度のほか、難病相談支援センター等難病に関する相談体制、保健所を中心とした「難病対策地域協議会」を通じた患者支援、障害福祉サービスによる支援、「難病患者就職サポーター」等の就労支援等、地域における難病患者支援について理解する内容を含むことが望ましい。

#### 2 難病の医療費助成に係る実務について(0.5時間)

- ・難病指定医等が行うべき実務について知識を深め、診断基準等に沿って適切に臨床調査個人票の記入を行うなどの内容とする。
- ・必要な検査の実施や、診断が困難で、臨床調査個人票が十分に記載できない場合に、適切な他の難病指定医を紹介できるよう、難病に対する地域の医療提供体制や全国的な医療支援体制について知識を習得する内容とする。

#### 3 代表的な疾患の診断等について(4.5時間)

- ・代表的な疾患に係る疾患概要や診断基準、重症度分類、臨床調査個人票、診療ガイドライン等について理解を深めるとともに、実際の症例検討や文献考察等を通して指針の知見に触れながら、診断や治療にあたっての臨床的な問題点について理解する内容とする。
- ・対象とする疾患や内容については、受講者の実態に応じてできる限り実践的なものになるよう留意すること。
- ・難病及び小児慢性特定疾病に係る小児期から成人期への意向・連携に関する内容を含めることが望ましい。
- ・研修の内容を補うテキストを紹介、配布するとともに最新の情報を収集する手法についての内容を含めること。

#### 4 難病指定医等の申請手続きについて

- ・難病指定等の申請手続きについて周知するとともに、研修修了に併せて申請手続を実施できる体制とすることが望ましい。

後に修了書を交付する。その修了書をもって(協力)難病指定医の申請を行うこととする。